

大学、病院との連携（平成 30 年度）

1. 早稲田大学との連携
 - (ア) 本学には早稲田大学のオープン科目を履修できる制度があり、6名の学生が利用した。
 - (イ) 6月16日に医学部5年生、看護学部4年生、早稲田大学人間科学部大学院生と合同で、「臨床倫理 倫理的判断」をテーマに、臨床倫理に関するワークショップを実施した。
 - (ウ) 9月から1月にかけて15回に亘り、早稲田大学学生を対象に、基礎医学系・臨床医学系の教授による「医学入門講義」を開講した。
 - (エ) 6月2日にTWIns 10周年記念 東京女子医科大学・早稲田大学ジョイントシンポジウム「TWIns 現在、過去、未来2018」が開催され、TWInsに在籍する若手研究員、教員、学生による口頭発表およびポスターセッションが行われた。
2. 連携校との交流を活発に行い、国際交流における危機管理対策のための対応強化のため、緊急事態体制の構築を実施した。
3. 台湾秀傳紀念医院との交流
 - (ア) 設置費用の一部を秀傳紀念医院の寄附により完成した524講義室のテレビ会議システムを利用した消化器外科学症例検討会を5回、整形外科学症例検討会を5回実施。
4. 国際シンポジウムやOne-day meeting を開催し、日中韓の三カ国の研究交流を推進させた。また、本学と梨花大学校（韓国）との共同研究が開始し、研究成果についての学会発表をおこなった。
5. 女性臨床医師のキャリア形成支援、女性医学研究者への研究と育児の両立を支援し、保育支援として東京医科大学との協働でファミリーサポート制度を継続し、サポーター交流会やサポータースキルアップ講習会を開催するとともに、人事部と協働し院内保育所の充実を図った。